

令和５年度 国立夜須高原青少年自然の家教育事業
夜須高原 筑前町通学合宿【実施報告】

1. 趣 旨 子ども達が共同生活や体験活動の中で自己の責任において、判断、決断をすることにより自己心や責任感を育む。また、学校の枠を超えた仲間とともに、思考力、発信力、行動力を磨くことで主体性や協調性を育み、一人一人が未来を生き抜く力を身につける。
2. 主 催 筑前町公民館
独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家
3. 期 間 令和５年７月２日（日）～５日（水）
4. 場 所 国立夜須高原青少年自然の家（福岡県朝倉郡筑前町三箇山 1103）
5. 参 加 者 24名（筑前町内各小学校 5～6年生）

6. 活動様子

6-1. アイスブレイク



6-2. スポーツレクリエーション



6-3. 竹を使ったフォトフレーム作り



7. 感 想

①プログラムに関すること

- ・レクリエーションが楽しかった。
- ・チキンベースボールと玉入れが楽しかった。 ・ご飯がおいしかった。

②他にどんな活動がしたいか

- ・肝試し ・ピクニック ・プール ・野外炊飯 ・ハロウィンパーティー
- ・レクリエーション ・公園 ・ドッジボール ・おにごっこ ・めんこ大会
- ・キャンプファイヤー ・フィールドワーク ・ウォークラリー

③事業全体に関すること

- ・たくさん友達ができて嬉しかった。
- ・たくさんの友達と共同生活を送れて楽しかった。
- ・最初はみんなと話せなかったけど仲良くなれて良かった。
- ・またこのようなイベントがあったら必ず参加したいです。
- ・期間を長くして欲しい。
- ・林間学校より長い期間で不安だったけど楽しかった。

8. 成 果

事業のうちレクリエーション等のプログラム部分を夜須高原青少年自然の家、子どもの生活及び健康サポートを筑前町教育委員会と分担することで、これまで以上に有効な事業を実現することができた。

初日のアイスブレイクでは一気に子ども達の不安を払拭し、その後のスムーズな交流に繋げることができた。

竹やまつばっくり等を使ったクラフト細工など自然の家ならではの活動も体験することができ、子ども達にとって貴重な経験に繋がった。

また、学校や家庭から離れた環境で初めて顔を合わせる友達と衣食住を共にし、それぞれの役割を担いながら、決められたスケジュールを意識し行動することで、自主性・協調性をしっかり育むことができた。

9. 課 題

初めての共催事業ということで、事前の打ち合わせやすり合わせが十分とは言えなかった。今後徐々に事業の形を形成し、学校や家庭生活を見直すきっかけ作りとなるよう事業の趣旨に沿った内容を提供していく必要がある。

